

5. 「健やか親子おきなわ21」における総合評価

指標	ベースライン	2014年の目標	策定時(2001年度)	中間評価(2005年度)	2010評価(2010年度)	最終評価(2014年度)	総合評価	
思春期班								
【 保健水準の指標 】								
1-1	10代の人工妊娠中絶実施率	('00) 県9.5% (全国12.1%)	減少へ	('00) 県9.5% (全国12.1%)	('04) 県 7.2% (全国10.5%)	('09) 県7.2% (全国7.1%)	('12) 7.4% (全国7%)	1、改善した ①目標達成
1-2	性感染症の定点情報での10代割合	('00) 19% (全国13%)	減少へ	('00) 19% (全国13%)	('04) 11% (全国11%)	('09) 20% (全国9%)	('12) 17.9% (全国8.9%)	1、改善した ①目標達成
1-4	不登校の子どもの数・引きこもりの相談件数	('00) 不登校の子どもの数 2,130人	減少傾向	('00) 不登校の子どもの数 2,130人	('04) 不登校の子どもの数 1,439人	('09) 不登校の子どもの数 1,742人	('12) ①不登校の子どもの数 1,672人	1、改善した ①目標達成
		—	—	未調査	未調査	※参考('08) 引きこもりの相談ができる支援機関数 37カ所	※参考('11) 引きこもりの相談ができる支援機関数 42カ所	4、評価できない ①
1-5	思春期の子どもの飲酒率	('98) 飲酒 男子8.3% 女子11.5%	減少傾向	('98) 飲酒 男子8.3% 女子11.5%	('03) 飲酒 男子10.5% 女子4.7%	('06) 飲酒 男子4.0% 女子4.9%	('11) 飲酒 男子3.6% 女子2.0%	1、改善した ①目標達成
	思春期の子どもの喫煙率	喫煙 男子28.7% 女子8.7%	減少傾向	喫煙 男子28.7% 女子8.7%	喫煙 男子9.2% 女子1.6%	喫煙 男子2.7% 女子2.4%	喫煙 男子1.8% 女子2.0%	1、改善した ①目標達成
【 住民自らの行動の指標 】								
1-7	地域での性教育や喫煙防止教育、アルコール・薬物の有害性に関する学習会等の開催数	—	増加傾向	未調査	未調査	未調査	('12) 性教育学習会 16市町村 喫煙防止教育 5市町村 アルコール・薬物の有害性に関する学習会 4市町村	4、評価できない ④
1-9	太陽の家(子ども110当番の家)の設置数	('00) 3,222カ所	増加傾向	('00) 3,222カ所	【修正】 ('05) 3,500カ所	('10.9月末時点) 6,950件	('12) 7,123件	1、改善した ①目標達成
1-10	「子どもが健全に集まれる場所の設置件数」(地域子ども教室)、(放課後子ども教室)	('04) 38市町村 316,611人 (地域子ども教室)	増加傾向	2004年度から事業実施	【修正】 ('04) 38市町村 316,611人 (地域子ども教室)	('09) 21市町村 270,585人 (放課後子ども教室)	('12) 22市町村 255,420人 (放課後子ども教室)	3、悪くなっている
1-11	避妊法を知っている中学生の割合	('98) 中学生37.7%	100%	('98) 中学生37.7%	('04) 中学生64% 中学生のみ56%	('06) 高校生85%	未調査	1、改善した ②目標に達していないが改善した
1-12	性感染症を正確に知っている思春期の子どもの割合	—	増加傾向	('98) 中学生 誤答が多い 高校生 良くなっている	2006年度に調査実施	('06) 中学生72.4% 高校生86.9%	未調査	4、評価できない ②
1-13	高校中退者の数	('00) 1,824人(3%)	減少傾向	('00) 1,824人(3%)	('03) 1,090人(2%)	('09) 953人(2%)	('12) 880人(1.93%)	1、改善した ①目標達成

指標		ベースライン	2014年の目標	策定時(2001年度)	中間評価(2005年度)	2010評価(2010年度)	最終評価(2014年度)	総合評価
1-14	薬物乱用の有害性について正確に知っている思春期の子どもとの割合	(’00) 絶対に使うべきでない 男子 小6 87.2% 中3 76.1% 高3 83.2% 女子 小6 90.2% 中3 81.6% 高3 91.2%	増加傾向	(’00) 絶対に使うべきでない 男子 小6 87.2% 中3 76.1% 高3 83.2% 女子 小6 90.2% 中3 81.6% 高3 91.2%	(’04) 中高生83%	(’09) 絶対に使うべきでない 男子 小6 91.1% 中3 85.4% 高3 87.8% 女子 小6 96.9% 中3 91.6% 高3 94.7%	未調査	1、改善した ①目標達成
1-16	夜間に徘徊し補導される子どもの数	(’00) 8,658人	減少傾向	(’00) 8,658人	(’04) 17,352人	(’09) 20,554人	(’12) 26,686人	3、悪くなっている

【 行政・関係機関等の取り組みの指標 】

1-19	学校保健委員会の設置率及び2回以上開催している割合	(’01) 設置率 高校 100% 中学校 89% 小学校92.9% 特殊100% (’01) 2回以上開催率 高校 31.4% 中学校 35.6% 小学校43.8% 特殊50.0%	増加傾向	(’01) 設置率 高校 100% 中学校 89% 小学校92.9% 特殊100% (’01) 2回以上開催率 高校 31.4% 中学校 35.6% 小学校43.8% 特殊50.0%	(’04) 設置率 高校 100% 中学校 90.7% 小学校93.2% 特殊100% (’04) 2回以上開催率 高校 68.6% 中学校 36.1% 小学校47.1% 特殊75%	(’09) 設置率 高校 100% (60校) 中学校 97.4% (150校) 小学校98.5% (268校) 特殊100% (16校) (’09) 2回以上開催率 高校 95% (57校) 中学校 38% (58校) 小学校 46.5% (128校) 特殊 43.8% (7校)	(’12) 高校100% (60校) 中学校98.0% (147校) 小学校97.8% (266校) 特別支援学校100% (16校) (’12) 2回以上開催率 高校93.35% (56校) 中学校50.3% (75校) 小学校63.2% (168校) 特別支援学校93.8% (15校)	1、改善した ①目標達成
1-20	スクールカウンセラーの配置をする学校数	(’01) カウンセラー 小中41校 高校6校	増加傾向	(’01) カウンセラー 小中41校 高校6校	【修正】 (’04) カウンセラー 小中108校 高校13校	(’10) カウンセラー 小中157校 高校43校	(’13) カウンセラー 小中275校 高校46校	1、改善した ①目標達成
1-21	「性」に関する指導を行った学校の率	(’04) 小 98.2% (270校) 中 97.4% (152校) 高 98.6% (71校)	増加傾向	未調査	【修正】 (’04) 小 98.2% (270校) 中 97.4% (152校) 高 98.6% (71校)	【修正】 (’09) 小 99.3% (271校) 中 100% (156校) 高 100% (60校)	(’12) 小 100% (269校) 中 100% (150校) 高 100% (60校)	1、改善した ①目標達成
1-21	薬物(喫煙・飲酒を含む)乱用防止に関する指導を行った学校の率	(’04) 小 93.8% (270校) 中 92.9% (152校) 高 98.6% (71校)	増加傾向	未調査	【修正】 (’04) 小 93.8% (270校) 中 92.9% (152校) 高 98.6% (71校)	【修正】 (’09) 小 95.2% (260校) 中 91.4% (143校) 高 100% (76校)	(’12) 小 98.5% (265校) 中 98.7% (148校) 高 100% (60校)	1、改善した ①目標達成
1-22	専門機関の対応窓口の設置状況	(’08) 思春期関連の相談ができる支援機関の数 42カ所	増加傾向	未調査	未調査	(’08) 思春期関連の相談ができる支援機関の数 42カ所	(’11) 思春期関連の相談ができる支援機関の数 42カ所	2、変わらない
3-9	ふれあい体験学習を実施している市町村の数	(’00) 23/52市町村 (44.2%)	全市町村	(’00) 23/52市町村 (44.2%)	(’04) 10/52市町村 (19.2%)	【移動】 (’09) 7/41市町村 (17.1%)	(’12) 7/41市町村 (17.1%)	3、悪くなっている

指標		ベースライン	2014年の目標	策定時(2001年度)	中間評価(2005年度)	2010評価(2010年度)	最終評価(2014年度)	総合評価
周産期班								
【保健水準の指標】								
2-1	乳児死亡率 (出生千対)	('00) 4.5 (全国3.2)	全国平均以下	('00) 4.5 (全国3.2)	('03) 2.6 (全国3.0)	('09) 2.4 (全国2.4)	('12) 2.7 (全国2.2)	1、改善した ②目標に達していないが改善した
2-2	低体重児出生率	('00) 10.3 (全国8.6)	全国平均以下	('00) 10.3 (全国8.6)	('03) 10.5 (全国9.1)	('09) 11.5 (全国9.6)	('12) 11.6 (全国9.6)	3、悪くなっている
◆	新生児死亡率 (出生千対)	('00) 2.4 (全国1.8)	全国平均以下	('00) 2.4 (全国1.8)	【追加】 ('03) 1.5 (全国1.7)	('09) 0.8 (全国1.2)	('12) 0.9 (全国1.0)	1、改善した ①目標達成
◆	周産期死亡率 (出産千対)	('00) 6.9 (全国5.8)	全国平均以下	('00) 6.9 (全国5.8)	【追加】 ('03) 6.0 (全国5.3)	('09) 4.8 (全国4.2)	('12) 4.3 (全国4.0)	1、改善した ②目標に達していないが改善した
【住民自らの行動の指標】								
2-3	妊娠11週以内の妊娠届け出率	('99) 72.9%	80.0%	('99) 72.9%	('03) 72%	('09) 84.1%	('12) 86.4%	1、改善した ①目標達成
2-4	母子手帳を本人がもらう率	('99) 86.9%	95%	('99) 86.9%	未調査	('09) 90.1%	('12) 96.1%	1、改善した ①目標達成
2-5	未熟児(2,500g未満)が市町村の健診を受けている率	—	100%	未調査	未調査	【修正】 乳児前期 85.2% 乳児後期 73.4% 1歳6か月 78.7% 3歳 75.8%	未調査	4、評価できない ①
2-6	妊娠中の両親の喫煙率	('00) 母親12.1% 父親60.2%	1%	('00) 母親12.1% 父親60.2%	('04) 母親10.8% 父親56.9%	【修正】 ('09) 母親6.8% 父親49.8%	('12) 母親4.2% 父親43.5%	1、改善した ②目標に達していないが改善した
2-10	妊婦健診受診率 (妊婦健診受診回数)	('09) 妊娠期間中の健診受診回数 11.5回 82.1%	12回	('00) (前期) 95.5% (後期) 93.2% (平均受診率) 95.1%	('03) (前期) 94.5% (後期) 91.7% (平均受診率) 95.7%	('09) 妊娠期間中の健診受診回数 11.5回 82.1%	('12) 妊娠期間中の健診受診回数 11.7回 83.6%	1、改善した ②目標に達していないが改善した
◆	妊婦の貧血率 前期 後期	('09) (交付税措置置分の受診5回分) 28.9%	減少	('00) 前期 13.6% 後期 52.5%	【追加】 ('03) 13.8% 55.1%	('09) (交付税措置置分の受診5回分) 28.9%	('12) (交付税措置置分の受診5回分) 27.5%	1、改善した ①目標達成
◆	性交渉を持つべきでないとする中高生の率	—	80%	—	【追加】 ('04) 52.9%	('06) 高校生 ・高校生まではしない 16.6% ・避妊を心がければ 23.4% ・お互いが納得できれば 21.3% ・考えたことはない 19.6%	未調査	4、評価できない ②

指標		ベースライン	2014年の目標	策定時(2001年度)	中間評価(2005年度)	2010評価(2010年度)	最終評価(2014年度)	総合評価
【 行政・関係機関等の取り組みの指標 】								
2-12	親子(母子)手帳交付時の保健指導の実施率(市町村数)	('00) 50% (26/52市町村)	100.0%	('00) 50% (26/52市町村)	('03) 69.2% (36/52市町村)	('09) 90.2% (37/41市町村)	('12) 97.7% (40/41市町村)	1.改善した ②目標に達していないが改善した
2-13	総合周産期母子医療センターの設置	0カ所	2カ所指定される	0カ所	('04) 1カ所	('09) 2カ所	('13) 2カ所	1.改善した ①目標達成
2-14	不妊相談センターの設置	('05) 1カ所	1カ所	2005年度から実施	('05) 1カ所	('09) 1カ所	('13) 1カ所	1.改善した ①目標達成
2-15	Dr カー(車)の配置	0ヶ所	2カ所配置される	0ヶ所	未調査	('10) 0カ所	('13) 0カ所	2.変わらない
2-17	HPを開設している産婦人科医院の数	('10) 35カ所/53カ所 (66.0%)	増加傾向	未調査	未調査	【修正】 ('10) 35カ所/53カ所 (66.0%)	('12) 34ヶ所/50ヶ所 (68.0%)	1.改善した ①目標達成
2-20	性教育に専門家を活用する学校の数	('06) 小学校 41校(15.1%) 中学校 86校(54.9%) 高校 26校(43.4%)	増加傾向	未調査	未調査	('06) 小学校 41校(15.1%) 中学校 86校(54.9%) 高校 26校(43.4%)	('12) 小学校 28校(10.7%) 中学校 73校(48.6%) 高校 29校(49.2%)	3.悪くなっている 3.悪くなっている 1.改善した ①目標達成
◆	妊産婦も利用できる禁煙外来医療機関の数の割合	('10) 妊産婦も利用できる禁煙外来医療機関 / 禁煙外来を開設している医療機関の数 32ヶ所/85ヶ所 (37.7%)	増加傾向	—	【追加】 未調査	【修正】 ('10) 妊産婦も利用できる禁煙外来医療機関 / 禁煙外来を開設している医療機関の数 32ヶ所/85ヶ所 (37.7%)	('12) 妊産婦も利用できる禁煙外来医療機関 / 禁煙外来を開設している医療機関の数 36ヶ所/82ヶ所 (44.0%)	1.改善した ①目標達成
◆	母親学級で禁煙指導を行う市町村の率	('03) 64.3%	100%	—	【追加】 ('03) 64.3%	【修正】 ('09) 12/41市町村 29.3%	('12) 11/41市町村 26.8%	3.悪くなっている
◆	妊産婦人口に対する就業助産師の割合(妊産婦人口10万対)(※妊産婦人口とは妊娠届出をした数とする)	('04) 県 1,931 (316人) 全国 2,274 (25,257人)	全国平均	—	【追加】 ('04) 県 1,931 (316人) 全国 2,274 (25,257人)	('08) 県 1,876 (314人) 全国 2,547 (27,789人)	('12) 県 2,272人 (388人) 全国 3,069人 (31,835人)	1.改善した ②目標に達していないが改善した
◆	助産師を配置する産科診療所数	('98) 50.0%	100%	('98) 50.0%	【追加】 未調査	('09) 34.8% 16施設	('12) 45.7% 16施設	3.悪くなっている
育児不安・子どもの心班								
【 保健水準の指標 】								
3-1	児童虐待による死亡数	('00) 0	0	('00) 0	('04) 1	('09) 1	('12) 0件	1.改善した ①目標達成
3-2	児童相談所への虐待相談件数	('00) 県 275件 全国 17,725件	増加を 経て 減少	('00) 県 275件 全国 17,725件	('04) 県 353件 全国 33,408件	('09) 県 435件、 (参考 市町村693件)	('12) 県 363件 (参考 市町村847件)	4.評価できない ⑤

指標		ベースライン	2014年の目標	策定時(2001年度)	中間評価(2005年度)	2010評価(2010年度)	最終評価(2014年度)	総合評価
3-3	子育てが楽しいと感じる親の割合	(’00) 乳児 90.7% (11,890人) 1.6歳児 88.6% (3,739人) 3歳児 82.7% (7,768人)	増加傾向	(’00) 乳児 90.7% (11,890人) 1.6歳児 88.6% (3,739人) 3歳児 82.7% (7,768人)	(’03) 乳児 92.0% (14,248人) 1.6歳児 90.9% (10,170人) 3歳児 86.8% (11,682人)	【修正】 (’09) 乳児 78.3% (11,989人) 1.6歳児 73.4% (9,853人) 3歳児 67.6% (8,519人)	(’12) 乳児 97.1% (15,320人) 1.6歳児 96.7% (13,926人) 3歳児 95.7% (13,552人)	4、評価できない ③ (参考資料6参照)
	子育てが大変と感じる親の割合	(’00) 乳児 0.2% (30人) 1.6歳児 0.3% (14人) 3歳児 0.2% (23人)	減少傾向	(’00) 乳児 0.2% (30人) 1.6歳児 0.3% (14人) 3歳児 0.2% (23人)	(’03) 乳児 0.1% (22人) 1.6歳児 0.1% (15人) 3歳児 0.2% (32人)	(’09) 乳児 10.8% (1,664人) 1.6歳児 14.5% (1,949人) 3歳児 17.0% (2,142人)	(’12) 乳児 2.9% (455人) 1.6歳児 3.4% (484人) 3歳児 4.3% (610人)	

【 住民自らの行動の指標 】

◆	女性相談所等におけるDVの相談件数	(’00) 118件(25.3%) 全体466件	減少	(’00) 118件(25.3%) 全体466件	【追加】 (’03) 324件(53.8%) 全体602件	(’09) 489件(59.7%) 全体819件	(’12) 805件(65.8%) 全体1223件	3、悪くなっている
◆	母乳育児の割合(3か月児)	(’00) 31.9%	増加	(’00) 31.9%	【追加】 (’04) 36.5%	(’09) 47.3%	(’12) 48.2%	1、改善した ①目標達成
3-6	地域にある育児サークルの数	—	増加傾向	未調査	(’04) 158カ所	【修正】 未調査	未調査	4、評価できない ①
3-8	育児について相談相手のいる母親の割合	(’04) 95.1%(乳児) 95.3%(1.6才児) 96.1%(3才児)	増加傾向	未調査	(’04) 95.1%(乳児) 95.3%(1.6才児) 96.1%(3才児)	(’09) 95.7%(乳児) 96.3%(1.6才児) 96.1%(3才児)	(’12) 96.3%(乳児) 96.4%(1.6才児) 96.5%(3才児)	1、改善した ①目標達成
◆	全出産数に対する10代母親の割合	(’00) 県 4.0% (全国1.7%)	全国平均以下	(’00) 県 4.0% (全国1.7%)	【追加】 (’04) 県 3.4% (全国1.7%)	(’09) 県 2.7% (全国1.4%)	(’12) 県 2.8% (全国1.2%)	1、改善した ②目標に達していないが改善した

【 行政・関係機関等の取り組みの指標 】

3-10	母親学級・両親学級を行っている産婦人科医院の数	(’03) 32カ所 72.7% (母親学級、両親学級)	増加傾向	未調査	(’03) 32カ所 72.7% (母親学級、両親学級)	未調査	(’12) 32ヶ所/50ヶ所 64% (母親学級、両親学級)	3、悪くなっている
3-11	乳幼児の健康診査に満足している者の割合	—	増加傾向	未調査	(’04) 勉強になった 41.2%	【修正】 (’09) 3歳児健診受診後の フォロー数 3,127人/12,677人 24.7%	未調査	4、評価できない ①
3-12	育児支援に重点をおいた乳幼児健診を行っている市町村の数	(’05) 38/49市町村 77.6% (国の調査)	全市町村	未調査	(’05) 38/49市町村 77.6% (国の調査)	(’09) 13/41市町村 31.7% (県の調査)	(’12) 39/41市町村 95.1% (県の調査)	1、改善した ②目標に達していないが改善した
3-13	自助グループの活動を支援する保健所・市町村の数	(’05) 6保健所	増加傾向	未調査	(’05) 6保健所	未調査	(’12) 1保健所	3、悪くなっている
		(’05) 1市町村		未調査	(’05) 1市町村	(’09) 4市町村	(’12) 3市町村	
3-14	虐待防止ネットワークを設置する市町村の数	(’01) 3市	増加傾向	(’01) 3市	(’04) 17市町村	(’09) 33市町村 (虐待防止ネットワーク 又は要保護児童対策 地域協議会)	(’12) 38市町村 (要保護児童対策地 域協議会)	1、改善した ①目標達成
◆	乳児健診未受診時の状況把握をする市町村の数	(’05) 36/49市町村 (73.5%)	全市町村	17年度から実施	【追加】 (’05) 36/49市町村 (73.5%)	(’09) 33/41市町村 (80.5%)	(’12) 40/41市町村 (97.6%)	1、改善した ②目標に達していないが改善した

指標		ベースライン	2014年の目標	策定時(2001年度)	中間評価(2005年度)	2010評価(2010年度)	最終評価(2014年度)	総合評価
◆	地域子育て支援センターの設置数	(’00) 11市町村 (16カ所)	84カ所	(’00) 11市町村 (16カ所)	【追加】 (’04) 21市町村 (35カ所)	(’09) 23市町村 73カ所	(’12) 79カ所	1、改善した ②目標に達していないが改善した
◆	乳幼児健康診査受診率	—	—	—	—	【H23追加】 (’11)※参考 88.0%(乳児) 86.9%(1.6才児) 80.5%(3才児)	【H23追加】 (’12) 乳児 87.4% 1.6歳児 86.9% 3歳児 83.9%	4、評価できない ⑥
◆	気になる子への健診事後フォローをしている市町村数	—	—	—	—	—	【H23追加】 (’12) 41/41市町村 100%	4、評価できない ⑥

子どもの環境班

【 保健水準の指標 】

4-1	不慮の事故による死亡率(人口10万対)	(’00) 0才 5.9 1才～4才 4.5 5才～9才 0 10才～14才 1.1	半減	(’00) 0才 5.9 1才～4才 4.5 5才～9才 0 10才～14才 1.1	(’03) 0才 12.2 1才～4才 4.5 5才～9才 7.4 10才～14才 1.2	(’05) 0才 6.2 1才～4才 3.0 5才～9才 7.1 10才～14才 3.4	(’10) 0才 0 1才～4才 4.7 5才～9才 3.7 10才～14才 1.2	・0才 1、改善した ①目標達成 ・1才～4才 3、悪くなっている ・5才～9才 3、悪くなっている ・10才～14才 3、悪くなっている
4-2	乳児のSIDS死亡率(出生10万対)	(’00) 89.4	0	(’00) 89.4	(’03) 0	(’09) 11.9	(’12) 41	1、改善した ②目標に達していないが改善した
4-3	幼児(1～4歳)の死亡率(出生10万対)	(’00) 119.2	半減	(’00) 119.2	(’03) 73.6	(’08) 59.7	(’12) 70.2	1、改善した ②目標に達していないが改善した
4-4	麻疹の患者数	(’00) 1,343人	0	(’00) 1,343人	(’04) 16人	(’09) 5人	(’12) 0	1、改善した ①目標達成
4-5	結核(19歳以下)の患者数	(’00) 5人	0	(’00) 5人	(’04) 1人	(’09) 3人	(’12) 7人	3、悪くなっている
4-6	小児の肥満の割合(ローレル指数160以上)	(’00) 小学5年生(男) 10.3%	減少傾向	(’00) 小学5年生(男) 10.3%	(’04) 小学5年生(男) 9.1%	(’09) 小学5年生(男) 7.5%	(’12) 小学5年生(男) 9.9%	1、改善した ①目標達成
		小学5年生(女) 6.8%		小学5年生(女) 6.8%	小学5年生(女) 6.0%	小学5年生(女) 5.0%	小学5年生(女) 10.0%	3、悪くなっている
4-7	3歳児のう蝕有病者率	(’00) 55.1%	30%以下	(’00) 55.1%	(’04) 48.6%	(’09) 38.5%	(’12) 33.2%	1、改善した ②目標に達していないが改善した

指標	ベースライン	2014年の目標	策定時(2001年度)	中間評価(2005年度)	2010評価(2010年度)	最終評価(2014年度)	総合評価	
【 住民自らの行動の指標 】								
4-11 4-12	子防接種率(1.6歳児)	('00)		('00)	【修正】 ('04)	('09)	('12)	1、改善した ①目標達成 1、改善した ②目標に達していないが改善した 1、改善した ②目標に達していないが改善した
	①BCG接種	①BCG 86.7%	95%	①BCG 86.7%	①BCG 90.7%	①BCG 98.0%	BCG 97.2%	
	②麻疹、三種混合接種	②麻疹 72.2%	95%	②麻疹 72.2%	②麻疹 87.7%	②麻疹 87.5%	MR1 86.8%	
		三種混合 63.5%	95%	三種混合 63.5%	三種混合 74.0%	三種混合 84.4%	三種混合 86.4%	
4-15	中学一年生(12歳)の持久力(男子1500M・女子1000M走の時間)	('00) 男子470.2秒 (全国427.0)秒 女子339.9秒 (全国301.1秒)	増加傾向	('00) 男子470.2秒 (全国427.0)秒 女子339.9秒 (全国301.1秒)	【修正】 ('04) 男子446.3秒 (全国423.3)秒 女子329.2秒 (全国297.0)秒	('09) 男子455.2秒 (全国424.4)秒 女子334.6秒 (全国301.5)秒	('12) 男子449.9秒 (全国411.0)秒 女子336.1秒 (全国292.3)秒	1、改善した ①目標達成
◆	チャイルドシートを利用している親の割合	('04) 乳児後期 94.9% 1才6か月 89.6% 3歳児 63.1%	100%	—	【追加】 ('04) 乳児後期 94.9% 1才6か月 89.6% 3歳児 63.1%	('09) 乳児後期 97.1% 1才6か月 94.6% 3歳児 77.3%	('12) 乳児後期 97.5% 1才6か月 95.7% 3歳児 81.8%	1、改善した ②目標に達していないが改善した
◆	3歳児の22時以降に就寝する児の割合	('01) 71.2%	減少傾向	('01) 71.2%	【追加】 ('04) 67.4%	('09) 57.8%	('12) 43.9%	1、改善した ①目標達成
◆	3歳児の9時以降に起床する児の割合	('01) 6.9%	減少傾向	('01) 6.9%	【追加】 ('04) 9.4%	('09) 3.8%	('12) 3.2%	1、改善した ①目標達成
◆	朝食を毎日食べる子の割合	('00) 小学生 86.1% 中学生 78.1%	増加傾向	('00) 小学生 86.1% 中学生 78.1%	【追加】 ('03) 小学生 83% 中学生 76.5%	('09) 小学生 87.7% 中学生 81.4%	('12) 小学生 88.3% 中学生 83.1%	1、改善した ①目標達成
◆	3歳までにフッ化物塗布を受けたことのある者の割合	('01) 51.4%	70%以上	('01) 51.4%	【追加】 ('04) 51.2%	('09) 63.4%	('12) 72.4%	1、改善した ①目標達成
【 行政・関係機関等の取り組みの指標 】								
◆	1歳6か月健康診査時にフッ化物塗布を実施している市町村の割合	('04) 63.5%	90%以上	—	【追加】 ('04) 63.5%	('09) 80.5% 33市町村	('12) 85.4%	1、改善した ②目標に達していないが改善した
4-20	事故防止に取り組む市町村の数	('00) 数カ所	全市町村 100%	('00) 数カ所	('05) 47/49市町村 95.9%	('09) 37/41市町村 90.2%	('13) 39/41市町村 (95.1%)	1、改善した ②目標に達していないが改善した
4-23	子どものための野外イベントの数	('05) 38	増加傾向	未調査	【修正】 ('05) 38	('09) 96	('12) 87	1、改善した ①目標達成
4-25	在宅支援訪問及び在宅支援外来療育等指導件数	('00) 訪問 52件 外来 715件	増加傾向	('00) 訪問 52件 外来 715件	('04) 訪問 2,019件 外来 2,155件	('09) 訪問 2,098件 外来 2,447件	('12) 訪問 2,160件 外来 2,415件	1、改善した ①目標達成
4-26	地域生活支援件数	('00) 370件	増加傾向	('00) 370件	('03) 4,626件	('06) 6,550件	未調査	1、改善した ①目標達成

指標		ベースライン	2014年の目標	策定時(2001年度)	中間評価(2005年度)	2010評価(2010年度)	最終評価(2014年度)	総合評価
4-27	施設一般指導件数	('00) 30件	増加	('00) 30件	('05) 68件	('09) 267件	('12) 260件	1、改善した ①目標達成
4-29	保健所での医療とのネットワーク会議の回数	('00) 保健所 50回	増加	('00) 保健所 50回	('05) 保健所 107回 (訪問看護ステーション 12回)	('09) 保健所127回	('11) 保健所119回	1、改善した ①目標達成
◆	都市公園の整備 (1人当たり公園整備面積)	('00) 7.2㎡/人	12.7 ㎡/人	('00) 7.2㎡/人	【追加】 ('05) 9.1㎡/人	('09) 10.7㎡/人	('11) 10.7㎡/人	1、改善した ②目標に達していないが改善した
◆	障害児が利用できる施設数 ①児童デイサービス事業所 ②短期入所事業所 ③児童居宅介護事業所 ④障害児保育	('00) 13カ所 ('04) 18カ所 ('04) 93カ所 ('04) 38カ所	増加傾向	('00) 13カ所 未調査 未調査 未調査	【追加】 ('04) 15カ所 18カ所 93カ所 38カ所	('09) 66カ所 51カ所(注1) 176カ所(注2) 162カ所	('12) 142カ所(注4) 56カ所(注1) 212カ所(注2) 221カ所	1、改善した ①目標達成
◆	医療的ケアを要する児の短期事業を行っている施設数	('04) 5施設	増加傾向	未調査	【追加】 ('04) 5施設	('10) 6施設	('12) 5施設(注3)	2、変わらない
◆	移送サービス実施市町村数	('00) 7/52市町村 (13.4%)	増加傾向	('00) 7/52市町村 (13.4%)	【追加】 ('04) 9/52市町村 (17.3%)	('09) 17/41市町村 (41.5%)	('13) 21/41市町村 (51.2%)	1、改善した ①目標達成

*注1:医療型児童福祉施設(肢体不自由児施設、重症心身障害児施設)を除く

*注2:居宅介護事業所の事業者数(対象は児童に限定されない)

*注3:医療型児童福祉施設で短期入所事業を行っている事業者数

◆は中間評価時に追加した指標